

CHOP療法クリニカルパス

様

	CHOP投与日	CHOP投与1～4日目
観察	治療の副作用を早く発見するために、CHOP開始前・CHOP終了時等に観察・検温に伺います。 CHOP投与中に気分不快・冷汗・吐き気・かゆみ・のどの違和感・便意・腹痛等の体調の変化があったら、すぐに医師、看護師にお知らせください。 また、点滴の針先の痛みや腫れなどがある場合もすぐに医師・看護師にお知らせください。  	発熱などの感染徴候がないか観察していきます。 嘔気、嘔吐が出現していないか観察していきます。
安静	制限はありません。	
食事	食事ができます。	
清潔	入浴できます。	
排泄	制限はありません。	
診察	 治療前に診察があります。	
処置	CHOP投与のための点滴ルートを保証します。□	
検査		
薬物療法	プレドニンの内服をします。	
説明	医師が治療・薬の副作用について説明します。 薬剤師が薬について説明します。   	
指導	副作用と副作用出現時の対応について、感染予防について、血管外に点滴が漏れないように協力をお願いしたいことなどを説明・指導します。	
目標	治療についてイメージができる。 副作用の理解ができる。 体調の変化があったときに医療者に伝えられる。 副作用に対して早期対応が受けられ、苦痛や症状が最小限に抑えられた治療が受けられる。	

*症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。

2017年12 月7 日作成 パス委員会承認 聖隷浜松病院B8病棟